

会議状況等報告書							報告者	近藤					
会議の名称		令和7年度第1回大府市多文化共生推進委員会											
日 時		令和7年6月13日（金）18時00分～19時25分							場所	市役所地下会議室001			
出席者	推進委員	松宮 委員長	大嶋 委員	岡田 委員	竹内 委員	嘉無木 委員	金森 委員	北嶋 委員					
		○	○	○	○	○	○	○					
	事務局	山口 副市長	中村 部長	小林 担当課長	アダム 主任	杉 主事	近藤 主事	李 CIR					
		○	○	○	○	○	○	○					
内 容（要点記録）													

議事進行：松宮委員長

傍聴人：0名

1 事務局自己紹介

2 委員長あいさつ

3 議題

（1）大府市における在留外国人の現状について

（委 員） 県営住宅では備付の物品の破壊のほか、エアコンの室外機が危険な方法で取付されているが、管理をしている県の事務所に伝えても現状を確認しにくくもない。県の仕事は県が、市の仕事は市がやることは前提ではあるが、外国人住民も一定期間定住するのであれば、日本のルールや習慣にあわせるべきで、その中で多文化共生をしていくべきである。

（委員長） 県営住宅は入居・退去しか基本的に確認しておらず、生活上で問題があった場合は自治会で解決してくれというスタンスである。これでは問題は深刻化する。今回、協力確認書の提出により企業等、関係機関との協力が可能になったのではと受け止めている。

（委 員） 協力確認書の提出は、会社を通じて、市役所が外国人と直接つながりを作る機会になると考えることができるだろう。企業と雇用されている外国人では、支配と依存の関係となるため、市役所が外国人と直接的につながりを持つことが必要だと考えている。

（委員長） 今後、協力確認書で集まった情報について、どのように利用していくのか検討いただきたい。

（2）大府市多文化共生推進プラン3の進捗について

（委 員） 日本語設定のスマートフォンであれば、おおぶ防災行政ナビのアプリ上で言語設定ボタンがあり、「やさしい日本語」もしくは「日本語」を選ぶことができる。一

方、日本語以外の言語に設定されているスマートフォンでは、おおぶ防災行政ナビのアプリ上に言語設定ボタンがないため、「やさしい日本語」を設定できない。この点を改善いただきたい。

(事務局) おおぶ防災ナビを管理している危機管理課では、対応言語が不足しているという認識をもっている。ただ全ての言語に対応はできないので、「やさしい日本語」を選択できる、という点も必要であることは危機管理課に情報共有しておく。

(委 員) 多文化共生推進委員会に参加して初めて、WKYの日本語教室について知り、参加をするようになった。よい取り組みであると感じるので、よりアピールをされるとよいのではと思う。

(事務局) 協力確認書の提出により、企業とのつながりができた。今後、企業を通して、周知を行い、より多くの人に参加できるようにしていきたい。また特定技能ではない外国人を受け入れている企業に向けては、商工会議所を通して日本語教室のPRをしていきたい。

(委員長) 外国人住民の数も多くなっているので、日本語教室の参加者も増えていくのではないかと思う。特定技能を受け入れている企業だけではなく、その他の実習生や派遣労働者にも働きかけていってもらえればと思う。

(委 員) 外国にルーツをもつ子どもと親への進路説明会の資料であるが、日本語で書かれている内容と裏面の外国語の内容が一致していない。

(委 員) 作成しなすことは可能だと思う。

(委員長) 情報が少ないというご指摘であるが、どこまですべて掲載すべきかという問題もある。来年度に向けて、必要な情報については確認し、記載いただきたい。

(事務局) 文化交流課のほうでも確認する。

(委員長) 以前からこのような進路説明会があればいい、という意見があり、実現した事業である。より多くの、特に保護者が参加できるように情報が掲載されればと思う。

(委 員) 日本語初期指導について、先生同士の横のつながりがなく、また異動によって担当者も変わるため、ノウハウの共有、疑問の解消等が難しい状況である。夏休み等に教育委員会が声をかけて、先生同士の結びつきを作るきっかけを作ってほしいと考えている。

(委 員) ご指摘はその通りである。新しい担当者に代わると、どのようにやっていたのかが分からないなどの意見がある。現在は、笠松先生や福田先生の日本語指導の授業を一度見て、使用している教材についても共有してもらって、進めている。ただ求める授業のクオリティにまで到達していない部分もあると思うので、引き続き支援していきたいと思う。

(委 員) 転入手続き後、学校教育課から現場の日本語教室に情報伝達がされていない。最初の段階で、どこの国から来たのか、お父さんとお母さんの日本語のレベル、子供と一緒に来たのか等の聞き取りが行われているはずであるが、その情報を情報伝達シートに書き入れ、学校の日本語教室に流すような仕組みが必要だと感じる。

(委 員) 窓口に来た時には、日本語はどれぐらい話せるのか、日本語教室の受講を希望するか、などを確認して、学校に情報を渡している。それ以上の細かい情報は、学

校側で外国籍の子供に限らず面談を行っているので、そこで聞いているのではと思う。ただ情報共有が日本語教室にされていないということなので、そこはどうなっているか疑問である。指導する上で必要な情報は伝えられるべきと考えている。

(委 員) 日本語レベルの判断は難しいと感じる。親や先生等、見ている人によって判断が異なる。また学校での日本語と、生活のための日本語は全く別である。

(委員長) N2などの基準がないので日本語能力の判断は難しいかもしれないが、国籍、年齢など最低限のほか、気を付ける点など、先生の準備に役立つ情報は共有されるべきだと考える。

昨年、大府市のクーポン情報などを提供できればいいと委員会で依頼し、すぐに対応いただき、感謝している。引き続き、よろしくお願いします。

(委 員) 2つ情報提供が必要だと考える。1つ目は特殊詐欺についての情報提供が必要である。大府を含む東海警察署管理内の特殊詐欺被害額が愛知県内でワースト1である。以前は高齢者が被害者で、固定電話を利用した詐欺が主流であったが、現在は20代～50代が被害者の80%であり、携帯電話を利用した詐欺が80%を占める。「市役所から、警察から」という言葉を信用しやすいので、外国人も被害者になりやすいだろう。2つ目は家族滞在が増えているので、DVに関する情報提供である。

また国際交流、多文化交流、多文化共生の主な違いを説明する。大府市では国際交流は基本的に姉妹都市交流を示す。多文化交流は、外国人がゲスト、アトラクション、エンターテイナー等、喜ばせる対象になる事業を示す。多文化共生は外国人が市民としてみなされる事業を示す。これを踏まえて、仕事、社会保険、税金などで貢献したい数人の外国人の意見をアンケートにまとめた。(別紙参照)

(事務局) 外国人へのアンケートということで、主にどの国籍の人へのアンケートか。

(委 員) 基本的にブラジル人である。永住者が多いので、家も買っている人がいる。イベントなどでゲストとして招待されるような対象ではなくて、市民として尊重されたいと考えている。

(事務局) 家を購入する程、日本に長く居住している方でも市役所で通訳が必要なのか。

(委 員) デカセギ時代が始まって以来、会社がすべて手続き等を行っていたので、ブラジル人は日本の法律や制度に詳しくなかった。ただ、すべてを会社に任せていたブラジル人のなかには社会保険の未納期間があり、与えられる年金が少なくなっている人もいる。今はそのような失敗がないように通訳や行政翻訳の制度があるといいと考える。会社に任せるのではなく、市役所に来て直接細かく理解したいという要望がある。

(委員長) ポルトガル語の通訳の頻度はどの程度か。

(事務局) 月1回である。

(委員長) 市民として参加するために通訳や行政翻訳が必要ということであり、前向きな話であると感じた。またDVに関する情報提供であるが、多言語で相談対応を行っているところがあるので、チラシを提供してもらえばよいと思う。

(委 員) 通訳がなかなか決まらない現状がある。原因として、月1回では仕事としてやれないという点が大きいと思う。他の市町村だと、もう少し日数が多い。細かいこ

とを聞きたい要望があるのであれば、その要望に応えるためにも日数の増加を検討した方がいいだろう。現在の相談員は国際交流協会側で謝金を支出しているが、大府市が直接雇用した方がよいのではないか。

(事務局) 現状を把握し、必要であれば予算要求等を行い、体制面の改善につなげていきたい。

(3) 令和7年度大府市日本語初期指導教室について

(委員) 学習支援のために、共長小学校日本語教室に行っているが、最近日本語の勉強をしたことがない、いわゆる日本語ゼロの子が数人いる。ただ実績資料を見ると対象児童は共長小学校にはいないことになっている。これはなぜか。

(委員) 日本語教室が設置され教員の加配がつくところは加配で対応してほしいという状況であり、共長小学校は加配がされているので一覧に対象児として載っていない。ただ、もし加配では回らない状況であれば、週一回程度ではあるが日本語初期指導で対応可能なので、教えてほしい旨を学校には伝えている。最近では、加配がない東山小学校において日本語初期指導の対象児童が増えている状況である。

4 その他

特になし